

使徒ヨハネ第二書

1

長老ちやうろうある我書われあみを、選えらばれたる婦人ふじんおよび其この子こどもに  
 贈おくる。われ眞まことをもて汝あんぢらを愛あいす。喜よろこびに我われのみふらば、凡すべて眞理まこと  
 を知る者ものは皆みなふんぢらんを愛あいす。これ我われらの哀あはれに止とどまりて  
 永遠とこしへに借ともにあらんとする眞理まことに因よりてあり。父ちちある神かみお  
 よび父ちちの子こイエス・キリストより賜たまふ恩恵めぐみと憐憫あはれみと平安と  
 は眞まことと愛あいとの中うちにて我われらと借ともにあらん。  
 われ汝あんぢの子こどもの中うちに、我われらが父ちちより誠命まことめを受けし如ごとく  
 眞理まことに従したがひて歩あゆむ者ものあるを見て甚はなはだ愧はづれり。婦人ふじんよ、わ  
 れ今いまふんぢに願ねがふは、我われらが互たがひに相愛あひあいすべき事ことあり。これは

聖書改譯原稿用紙

新あらたらしき誠命まことめを書かき贈おくりるにあらば、我われらが始はじめより有もてる誠命まことめ  
 あり。彼の誠命まことめに尊したがひて歩あゆむは即すまはち愛あいあり、汝あんぢらが始はじめより  
 聞きし如ごとく愛あいに歩あゆむは即すまはち誠命まことめあり。人を惑まどす者ものおほく  
 世よにいでイエス・キリストの肉體にくたいにて來きたり給たまひし事ことを言表いひあらは  
 はず、斯かる者ものは人を惑まどす者ものにして、非ひキリストあり。汝あんぢら  
 われ我われらが働はたらきし所ところを空あやしくせず、満みち足たる報むくいを得えんため  
 我われらが働はたらきし所ところを空あやしくせず、満みち足たる報むくいを得えんため  
 自ら心こころせよ。凡いふそキリストの教をに居をらば、之これを越こえぬ  
 者ものは神かみを有もたず、キリストの教をに在ある者ものは父ちちと子ことを有も  
 つあり。人ひともし此この教をを有もたずして、汝あんぢらに來きたらば、之これを家いえ  
 に入いるふ、安やすかれと言いふ。之これに安やすかれといふ者ものは、その惡あ

7  
「書き表はす」  
「かくるは」  
「おくりは」

6  
\*單本「汝ら」とあり

十二

しき行為に與するあり。

われ おこちか 我おほ汝らに書き贈る事多くあれど紙と墨とにてす

るを好まざる この 我らの歡喜を克さん為に汝等に列り顔をおほ

せて語らんことを望む。 かた 照ばれたる汝の姉妹の子ども

んぢに安否を問ふ。

十三

聖書改譯原稿用紙

一 長老ちやうらうある我われ書を愛あいするがヨス。わが真まことをもて愛あいする者ものに贈おくる。

二 愛あいする者ものよ、我われあんがが靈魂たましいの榮さかゆるごとく汝ちがひすべし。の事ことに榮さかえ、か一健すこやがあらんことを祈いのる。兄弟きやうだいたち來きたりて

三 汝ちがひが真理まことを保たもつこと、即すまはち真理まことに従したがひて、未あゆむことを證あかししたれば、我われ甚よく喜よろこべり。我われには我われが子こどもの真理まことに従したがひて未あゆむ

四 汝ちがひを聞きくより大おほいなる喜よろこ悦ひはあし。愛あいする者ものよ、あんが兄弟きやうだい旅たび人びともある兄弟きやうだいたちたちにまで行いふ所ところみふ忠實ちゆうじつをもて為なせり。かれら教會けきわいの前まへにて汝ちがひの愛あい

聖書改譯原稿用紙

五 につきて證あかしせり。あんが神かみの御意みこころに適あふやうに彼かれらを見み送おくらば、其そのの行いふところ善よからん。彼かれらは異邦人いはうじんより何なにをも

六 受けずして御名みかどの爲ために旅立たびだちせり。されば斯かる人ひとを助たすくべし。あり、我われら彼かれらと共に真理まことの爲ために働はたらく者ものとあらん為ためあり。

七 別行べつぎやう われら曩さきに聊いささか教會けきわいに書かき贈おくれり。されど彼かれらの中うちに長ながたらんと欲ほつするテオテレペス我われらを受けず。この故ゆゑに我われ

八 もし往ゆかば、其そのの行いへる業わざを思おもひ出いださせん。彼かれは惡あしき言ことばを

九 我われらを罵ののし、ふは足たれりとせずして自ら兄弟きやうだいたちを接うけお之これを拵うけんとする者ものをも拵こめて教會けきわいより逐おいだす。愛あいする者ものよ、惡あくに做あらふふ善せんに做あらへ。善せんを行いふ者は神かみより

效

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

出で、悪あくを行なふ者ものは未いまだ神かみを見みざるあり。テメテリオは凡たゞこの人ひとにも真理しんりにも證あかしせらる。我われ等らもまた證あかしす。汝あんぢわらの證あかしの眞まことあるを知る。

我われあほ汝あんぢに書かき贈おくる事こと多くあれど墨すみと筆ふでにて書かく。速すみかに汝あんぢを見みるに顔かほをあはせて語かたらんことるを欲ほつせず。汝あんぢに平安へいあんあれ、朋友ともたち安否あんひを問とふ。あんぢ名なをとし

て友ともたちに安否あんひを問とへ。

聖書改譯原稿用紙